

令和8年熊本地震 くらし再建・復興に向けた意見交換会(南区)

日時	令和8年9月13日(日) 10時00分 ~ 12時00分
場所	川尻公会堂 大広間
参加者	16名

番号	意見 交換会	ご意見	当日の回答内容
1	南区	災害に備え、各自3日分の水分と食料を用意することとしていたが、今回の地震で実際に3日分を補給できた避難所はあったのか。	各避難所の分散備蓄倉庫からアルファ米、ミルク、飲料水等を提供し、不足分は近隣倉庫や支援物資で補充した。自治体備蓄と民間の流通備蓄を組み合わせ、11万人の1日(2食)分の食糧を確保する計画で運用した。
2	南区	被災した集会所、お地藏様等の地域コミュニティ施設の再建を支援してほしい。	被災状況の全容把握を進め、既存の支援スキームで不足する部分も含め、地域コミュニティ施設の復旧・再建・強靱化を支援する方向で検討する。
3	南区	県立熊本農業高校では協定上、体育館と運動場しか使用対象でなく、教室の使用判断ができなかった。災害時に柔軟な対応ができるよう協定を見直してほしい。	協定内容を確認する。県とも連携し、現場が良かれと思って判断でき、責任を問われない環境整備を急ぐ。
4	南区	防犯カメラを増設し、来年度以降の支援金額、補助金、事業実施体制を示してほしい。	防犯カメラは被災状況の把握にも役立つため、来年度以降も積極的に支援する。
5	南区	内水氾濫時に国土交通省の大型ポンプ車を迅速に要請できるよう、市、国、地域で事前に打合せを行ってほしい。	緑川河川国道事務所と連携しており、必要時は出動要請できる。河川周辺の地域とのネットワークを強化し、市が先手を打って要請する。
6	南区	断層の割れ残り等の地震情報を、地域に分かりやすく知らせてほしい。	今回の情報伝達には課題があった。連絡方法や最適な伝達方法を地域と相談しながら充実させる。
7	南区	支援制度を知らず申請できない人がいるため、平時から周知し、申請主義を改善してほしい。	保健師等が冊子を持って訪問し制度を案内している。地域団体やまちづくりセンターと情報共有し、アウトリーチ型支援と南区の総合窓口によるワンストップ支援を充実する。
8	南区	コロナ禍以降薄れた地域交流を再構築し、顔の見える関係づくりを進めたい。	地域交流を深める取組を市として支援し、新しい住民も地域に溶け込みやすい仕組みを検討する。

番号	意見 交換会	ご意見	当日の回答内容
9	南区	神社等の地域施設について、10年前と同様の復旧補助の見込みを示してほしい。	前回は国、県、市の復興基金を活用した。今回も前回事例を踏まえ、支援額が現実的に十分かも含めて対応を検討する。
10	南区	長期避難者に温かい食事を提供できるよう準備してほしい。	大規模避難所ではキッチンカーや民間の炊き出しを実施した。避難者が少ない避難所への対応、お湯等の確保、衛生管理を含む炊き出し訓練を研究する。
11	南区	罹災証明取得後に利用できる制度が分かりにくい。AIを活用した24時間の電話相談等を検討してほしい。	証明書送付時に利用可能な制度案内を同封している。AIによる電話・スマートフォンでの自然言語応答など、災害時にも迅速に情報提供できる仕組みを研究する。
12	南区	海沿いで垂直避難が難しいため、津波避難タワーを整備してほしい。	他都市の事例を踏まえ、高齢者の利用、備蓄倉庫、水、簡易トイレ等も含め、効果的な整備方法を検討する。
13	南区	民生委員等の活動に高齢者の方々から「あの時はどうもありがとう」といった声が溢れていた。これがこれからの少子高齢化が進む社会でやっていくことのヒントをいただいた。ぜひ行政としてもさらなるフォローをいただけるとありがたい。	接触機会の拡大、LINE等を使った安否確認、人材発掘への支援を進め、人と人とのつながりによる強靱なコミュニティづくりを支援する。
14	南区	被災者への傾聴や心と心のふれあいやつながりを継続してほしい。	行政だけでなく民間ボランティアの力も活用し、励ましや傾聴による寄り添い支援を充実する。
15	南区	一人暮らし高齢者など、頼れる人がいない住民を一人ひとり支える体制を強化してほしい。	民生委員等を含む普段からのつながりと接触を強化する。
16	南区	被災した選果場等を早期復旧し、農業生産を継続できる支援体制を整えてほしい。	選果場やカントリーエレベーター等の復旧を急ぎ、農業施設、ビニールハウス、重油タンク等の強靱化を進める。
17	南区	御幸小学校の貯水タンクの水が濁り、プロパン発電も時間で停止して避難所機能を果たさなかった。設備を検証し再発防止してほしい。	設備を検証し、再発防止を徹底する。施設の目的と使用方法の周知、ガス・電気設備の安全確認も進める。
18	南区	小中学校体育館へのエアコン設置を早急に進めてほしい。	今年度から令和11年度までに全小中学校に整備する予定であり、工事、予算、発注方法を検討しながら前倒しを目指す。
19	南区	避難所で食事だけ受け取る人の事情を確認し、適正な運営を行ってほしい。	避難者は、断水や自宅設備の不具合、仕事への通勤、余震不安等の事情がある。避難者ごとの事情を聞き取り、被災者カルテを作成して生活再建につなげる。

番号	意見 交換会	ご意見	当日の回答内容
20	南区	災害と無関係なごみの持込みが疑われるため、受付期限や運用を整理してほしい。	被災状況や地域状況に応じ、災害ごみの受付を柔軟に運用する。
21	南区	南部地域にもスポーツ施設等と一体となった避難所・防災拠点を整備してほしい。	交通利便性の高い場所でスポーツ拠点整備を進め、災害時に活用できる防災機能を併設する方針である。
22	南区	加勢川の堤防強化と天明新川の河川改修を急ぎ、内水氾濫対策に予算を配分してほしい。	排水機能と流下能力の向上、堤防の抜本的強化に必要な国の予算確保を要請している。天明新川の整備も前倒しを指示し、可能な限り急ぐ。
23	南区	区境を越えた民生委員等の連携と地域コミュニティの広域連携を進めてほしい。	西区、南区、中央区など区境を越えた連携・合同の取組を推進し、コミュニティ形成を目指す。
24	南区	防災機能と一般機能を備えた次世代につながる新庁舎を実現してほしい。	被害状況を検証委員会で客観的に精査し、防災拠点としての機能と財政負担のバランスを踏まえ、議会と市民に情報を示して意思決定する。
25	南区	避難所の建物・設備について、平時と地震発生後の安全点検方法を明確にしてほしい。	学校施設は耐震補強済みで、毎年保守点検を行う。避難所開設時は管理者または市職員が亀裂、天井部材、電気・照明設備等を点検した上で開設する。
26	南区	職員や施設管理者が到着できない場合に備え、安全点検チェックリストや点検結果を地域と共有してほしい。	目視チェックリストの共有、非構造部材を含む点検の強化、自治会長や校区防災担当者への点検結果・リスク箇所の情報共有を進める。